

# 遂に実現！魂を揺さぶる歌が生まれる！

## 寺田町＋板橋文夫＋瀬尾高志

(歌とギター)

(ピアノ)

(ウッドベース)

3/10(木) [札幌]くう(札幌市中央区南1西20(南大通沿い 北向き)LOGビルB1)

最寄駅:地下鉄東西線「西18丁目」駅 (1番出口より徒歩2分)

開場 19:30 開演 20:00

予約 3000円(当日 3500円)別途飲物代 500円必要

予約・お問い合わせ:011-616-7713(くう)

3/11(金)[岩見沢] そらち炭坑の記憶マネジメントセンター(岩見沢市1条西4丁目3)

開場 18:30 開演19:30 前売:一般 3000円 学生 2500円 (当日は500円UP)

予約・お問い合わせ:090-5226-5585(大徳)



Photo by Kei Obata

### 寺田町(歌とギター)

1960年生まれ。愛知県出身。ヴォーカリスト。ソングライター。強靱なノドと"ボキャブラリー"を武器に、津々浦々で一人サーカスのパフォーマンスを展開中。

1981年より本格的な活動を開始。各地でライブを行う。

1993年、「寺田町 GROUP」を結成。各地で精力的にライブ活動を行う。同バンドで『スカラムーシュ('94)』『人魚に恋した男の歌('97)』をリリース。

また、映画「レグラバザボチ(中村一彦監督)」「鬼火(望月六郎監督)」に挿入歌を提供。

1999年、バンド活動休止を経て、ソロCD『微熱の街('01)』をリリース。

以後、ベーシストの橋本潤(from横道坊主)、ウッドベース瀬尾高志、ピアノ石田幹雄らとの活動も続け、現在までに12枚のアルバムを発表する。

酔いどれ詩人。酒場での恋歌。旅する唄歌い。時々、音楽の女神様が舞い降りてきたかと思うほど倍音を含んだ歌声が魅力。

フォーク、ジャズ、ブルースという枠に当てはまらない完全なオリジナルな世界を歌う。東京を拠点に北海道から九州まで日本中を旅するシンガー。



Photo by Kei Obata



### 瀬尾高志(ウッドベース)

コントラバス奏者。主にジャズ、即興などのライブを行う。その演奏活動は多岐に渡り、生まれ育った札幌を拠点としながら全国各地で多様な形態でのライブ活動を行っている。2006年、横浜ジャズプロムナードコンペティションに「石田幹雄トリオ」で出演し、グランプリと横浜市民賞を受賞。同トリオでアルバム『張碓』を録音。

高瀬アキ、板橋文夫、林栄一、千野秀一、スガタイロー、小山彰太、外山明など多くのミュージシャンと共演している。また、音楽だけではなく絵画、彫刻、舞踏、映像などさまざまなジャンルとの共演も試みている。「即興」ということをテーマに演奏活動を続けている。

### 板橋文夫(ピアノ)

1949年足利市生まれ。国立音楽大学在学中に本田竹広の「真っ黒い」ピアノに打たれてジャズを志す。卒業と同時に渡辺貞夫クインテットでプロデビュー。日野皓正、森山威男のグループを経て、エルビン・ジョーンズのワールド・ツアーに参加したほか、ソロや自己のトリオなど様々なユニットで活動する。93年に独立して新事務所「Mix Dynamite」設立。純邦楽、民謡、詩、絵画、舞踏などジャンルを超えた共演を重ねる。

アジア、ブラジル、アフリカなどでも公演を行い、様々な音楽を吸収する。童心と狂おしいまでの叙情。そして生きることそのものを鍵盤に激しく託す。全身全霊をかけ、自己の限界点を超えようとする気迫の演奏は、聴く者を大きく揺さぶり続けている。